

第3期第6回 横浜市税制調査会

日時：平成30年2月21日（水）10時00分～11時30分

場所：市庁舎4階 財政局会議室

1. 開会

10:00～10:05

2. 議題

10:05～11:30

- (1) 「これからの緑の取組[2019-2023]（素案）」について
- (2) その他

3. 閉会

11:30

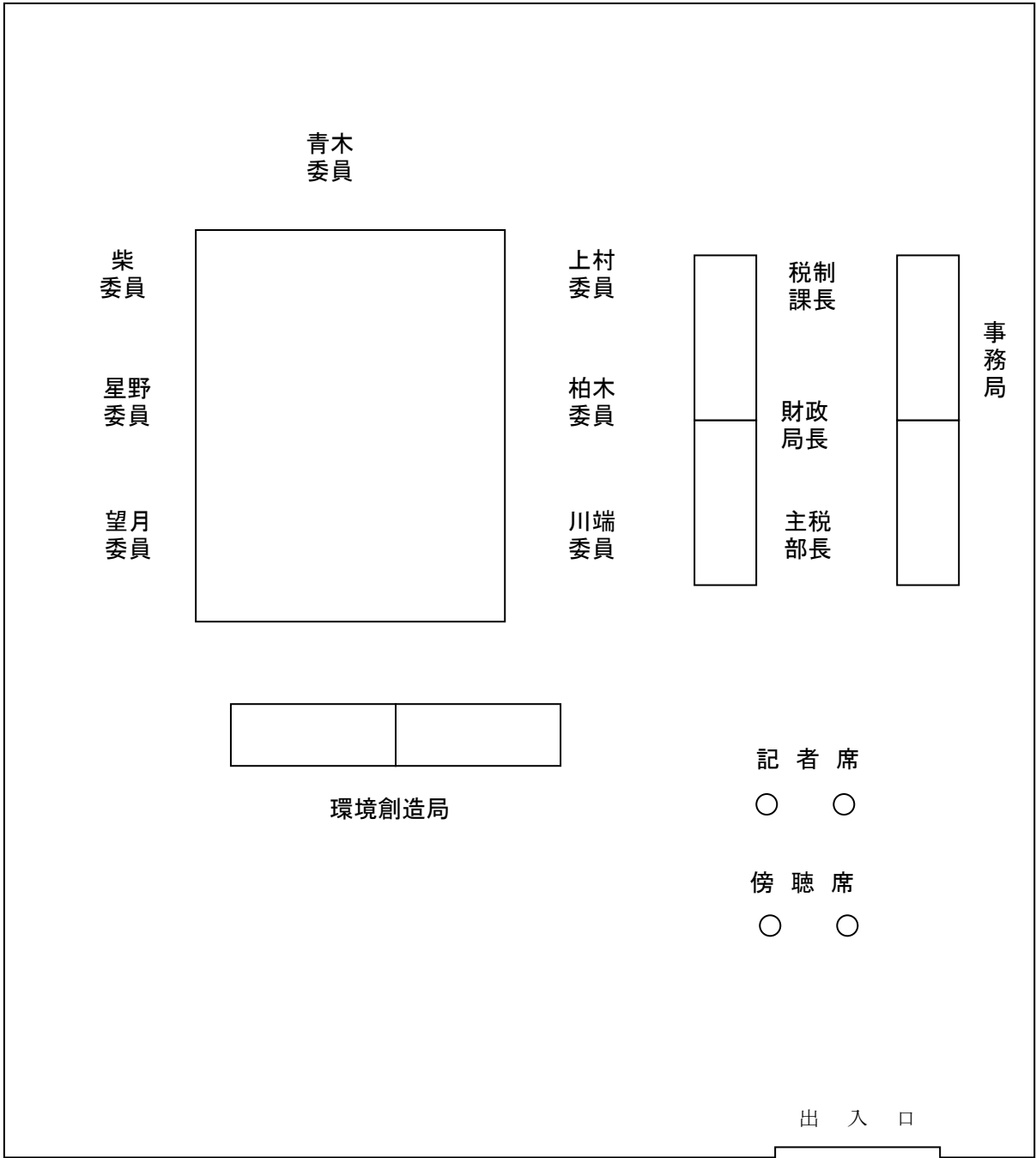
平成 29 年度横浜市税制調査会委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏 名	所 属 等
青 木 宗 明	神奈川大学 経営学部教授
上 村 雄 彦	横浜市立大学学術院 国際総合科学群教授
柏 木 恵	キャノングローバル戦略研究所 研究主幹
川 端 康 之	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院教授
柴 由 花	常葉大学 法学部教授
星 野 菜穂子	和光大学 経済経営学部教授
望 月 正 光	関東学院大学 経済学部教授

【第3期第6回横浜市税制調査会 座席表】

平成30年2月21日(火) 10時00分から11時30分まで
市庁舎4階 財政局会議室



「これからの緑の取組 [2019-2023]」(素案) について

平成 31 年度以降の緑の取組を「これからの緑の取組 [2019-2023]」(素案) として取りまとめましたのでご報告します。

1 横浜みどりアップ計画 (計画期間: 平成 26-30 年度) について

[資料 2-1](#) [資料 2-2](#) [資料 2-3](#)

2 「これからの緑の取組 [2019-2023]」の特徴

- ・ 現計画の理念や目標像、基本的な枠組みや主な取組は継承
 - ・ これまでの取組の成果や課題、市民意識調査の結果、全国都市緑化よこはまフェアの開催による緑や花への関心の高まりなどを反映
- (1) 近年の新規指定実績などを踏まえ、樹林地の新規指定目標は 300ha とし、緑の 10 大拠点内の樹林地や身近なまとまりのある樹林地の指定を推進
(現計画の新規指定目標: 500ha/5 年)
 - (2) 樹林地を所有する方が、できるだけ樹林地として 持ち続けられるよう、維持管理の負担を軽減するための支援を拡充
 - (3) 老朽化した桜の街路樹などの 地域で愛されている並木の再生を新たに実施
 - (4) 全国都市緑化よこはまフェアの成果を継承し、都心臨海部や里山ガーデンなどにおいて緑や花による魅力ある空間づくりを進めるとともに、緑や花に関わる市民の盛り上がりを醸成する、地域に根差した各区での取組などを新たに実施

3 「これからの緑の取組 [2019-2023]」の体系と主な内容 [資料 3](#) [資料 4](#) [資料 5](#)

4 「これからの緑の取組 [2019-2023]」の総事業費

約 5 百億円

横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）3 か年の主な成果と実績（平成 26-28 年度）

取組の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

■森の保全が進展

266.6ha 保全

67.0ha 買取り

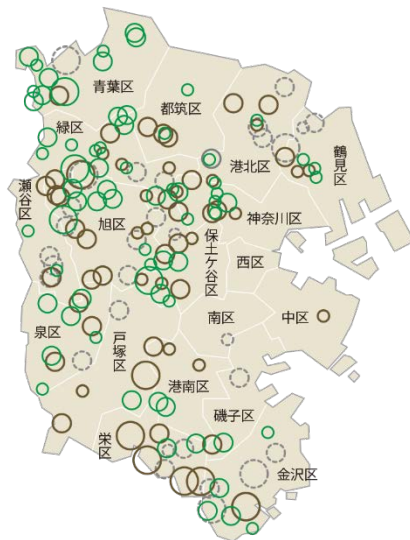
特別緑地保全地区、市民の森などの制度による指定を積極的に進めました。また、特別緑地保全地区などの指定地で、土地所有者の不測の事態などによる買入れ申し出に、着実に対応しました。

緑地保全制度により
指定された主な樹林地
(特別緑地保全地区・
近郊緑地特別保全地区)

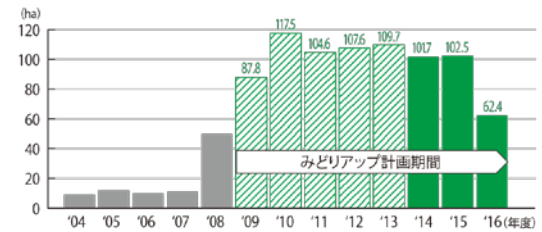
凡例

① 1ha 未満
② 1ha 以上 10ha 未満
③ 10ha 以上

○ みどりアップ計画以前
○ みどりアップ計画期間
2009～2013年度
○ みどりアップ計画期間
2014～2016年度



緑地保全制度による新規指定等の面積推移



新規指定した樹林地（港北区）



新規指定した樹林地（金沢区）

■森への関わりが広がり、深まる

「横浜市森づくりガイドライン」や「保管理計画」を活用した維持管理により良好な森づくりを進めました。また、イベントなどをきっかけとして森に関わる市民の裾野が広がるとともに、森づくりの研修などを通して森を育む人が育っています。

・森づくり活動団体への支援

のべ 107 団体

市民の森や都市公園内の樹林地等で活動する団体に対して、森づくり活動を支援

・森づくりガイドライン等を活用した森の育成

維持管理した森のべ 404 か所

森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者などの安全に配慮した森づくりを推進

・樹林地維持管理助成

318 件

緑地保全制度により指定した民有樹林地の外周部などの危険・支障樹木の管理作業を支援

・森の楽しみづくり

イベントやクラフト教室 345 回

市内の大学と連携した多様な環境活動や地域特性を生かした自然体験学習（よこはま森の楽校）、子どもが木とふれあい、遊びを通して横浜の森について考える心を育てるためのイベント（森の中のプレイパーク）などを実施

・ウェルカムセンターの運営

森の情報を発信し森の魅力を伝える「ウェルカムセンター」を 5 館運営



専門家派遣による研修（金沢区）



森の中でのプレイパーク（瀬谷区）

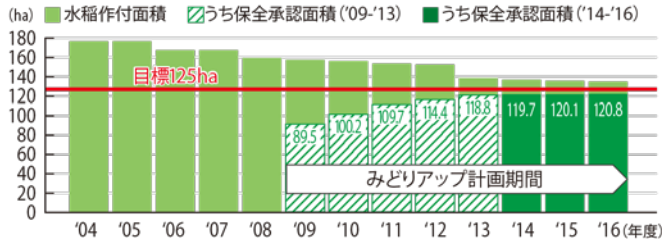
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

■市内の水田の9割を保全 120.8ha 保全

貴重な農景観である水田の減少を食い止めるため、水稲作付を10年間継続することを条件に、土地所有者へ奨励金を交付しました。

・水田の保全

市内の水田面積と計画で保全した面積(累計)



・農景観を良好に維持する取組の支援
周辺環境と調和した良好な農景観を保全・形成するため、農業者団体が実施する維持・管理の取組を支援 723.0ha



良好に維持されている農地(泉区)

■農とのふれあいの場が着実に増加

市民ニーズに応じた多様な農園の開設のほか、直売所等への支援や農体験教室の開催を進めました。

・様々なニーズに合わせた農園の開設 15.9ha

収穫体験から本格的な農作業まで、多様な農園の開設支援や整備を推進

・地産地消にふれる機会の拡大 直売所等の支援 25件

地域でとれた農畜産物などの直売所の整備等や青空市の運営支援

・農体験教室などの実施 農体験教室等 270回

家族で学ぶ農体験教室など、市民が農とふれあう機会を提供



開設支援した市民農園(戸塚区)

取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる

■緑のまちづくりが進展 35地区

地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民と協働して進めました。

■緑や花で街の賑わいを創出

都心臨海部において、緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に実施しました。

・都心臨海部の緑・花による賑わいづくり

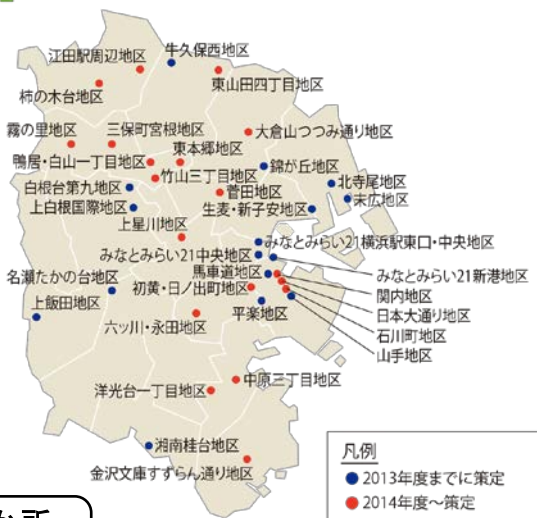
・公共施設・公有地での緑の創出 56か所

各区の主要な公共施設について、緑を充実させる取組を推進

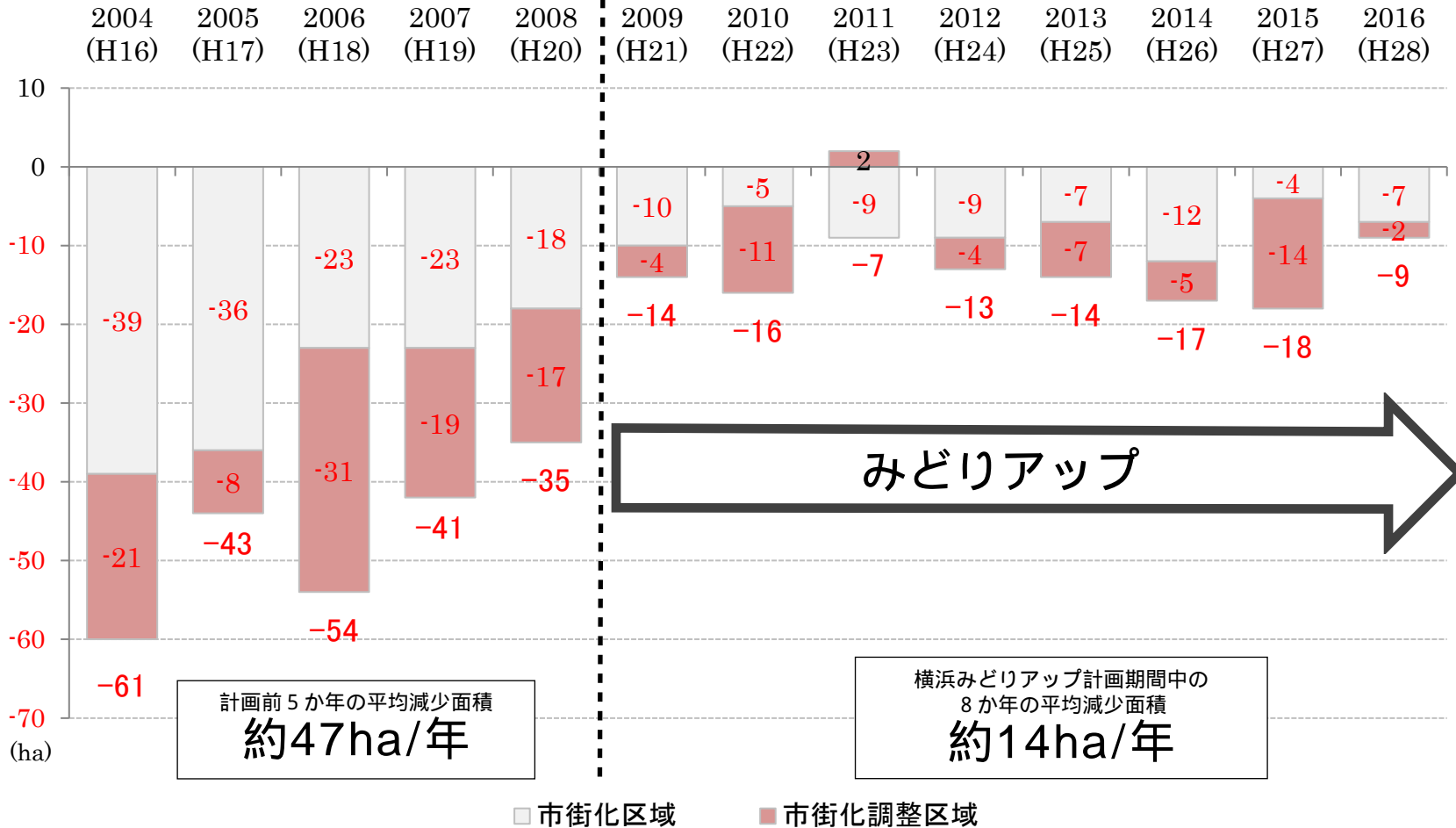
・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 118か所

子どもを育む空間において、多様な緑を創出

地域緑のまちづくり 地域緑化計画策定地区



課税地目山林面積の減少量の推移 (固定資産税概要調書及び取得実績等をもとに集計) 資料 2 - 2



計画前 5 か年の平均減少面積
約47ha/年

横浜みどりアップ計画期間中の
8 か年の平均減少面積
約14ha/年

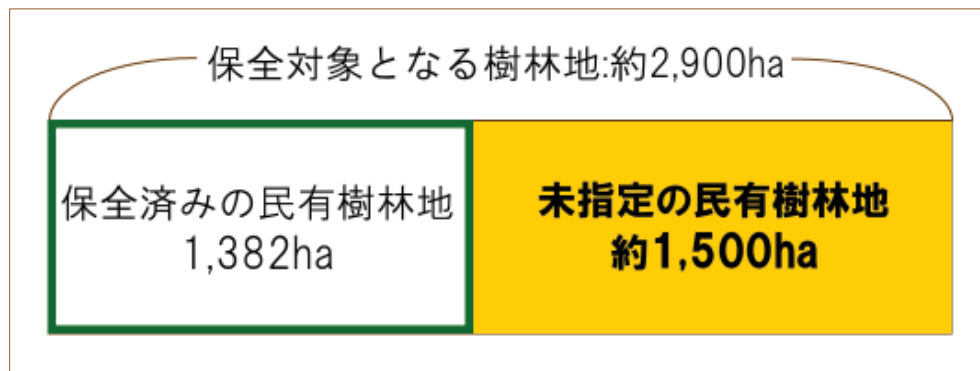


●緑地保全制度による指定が進んだ一方で、市内には保全すべき樹林地が多く残っており、引き続きまとまりのある樹林地の保全に取り組みます

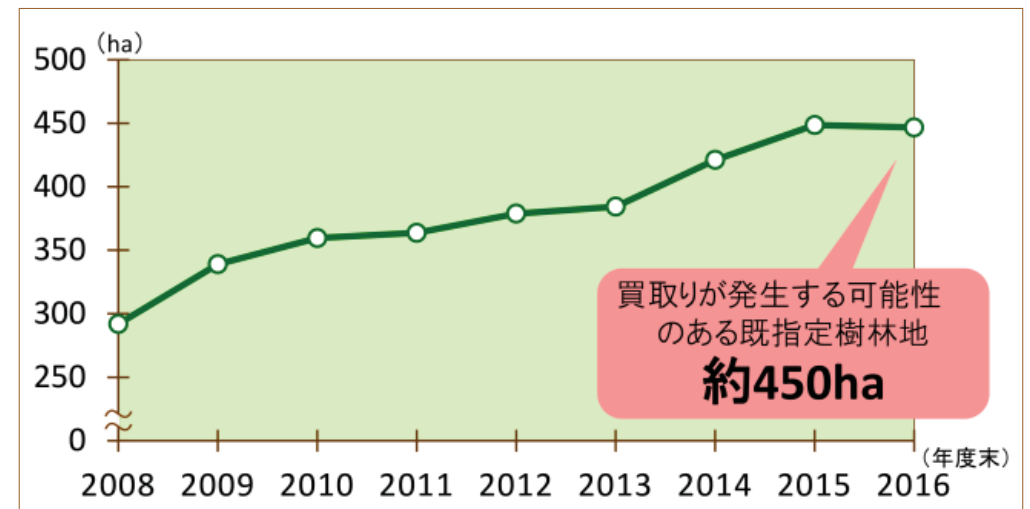
「横浜みどりアップ計画」開始以降、8年間で793.8haの樹林地を緑地保全制度により新規指定してきましたが、未指定の民有樹林地は約1,500ha残っています。

また、指定地での買取り申し出に着実に対応し、191.6haの樹林地を市有地としましたが、今後買取りが発生する可能性のある既指定樹林地の総面積は約450haあります。

横浜の緑の減少に歯止めをかけるため、今後も継続した取組を進めていくことが必要です。



▲保全対象の未指定民有樹林地の総量（2016年度末時点）



▲買取りが発生する可能性のある既指定樹林地の総面積推移

これからの緑の取組の検討の視点

平成29年9月20日の第3回市会定例会常任委員会で報告（再掲）

- ① 緑豊かな横浜の環境を次世代に引き継ぐため、これまでの取組の成果や課題を踏まえ、計画の理念や目標像、基本的な枠組みや主な取組は継承
- ② 保全した樹林地・農地や創出した緑や花が増えており、緑の多面的機能が発揮できるよう適切な維持・保全・活用を推進
- ③ 全国都市緑化よこはまフェアの成果を生かし、市民が緑を実感でき、まちの魅力を高める取組を強化

取組の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

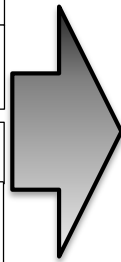
- 1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- 2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- 3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

現計画の体系

柱1 市民とともに次世代に つなぐ森を育む	施策1 樹林地の確実な保全の推進	事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り (1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
	施策2 良好な森を育成する取組の推進	事業② 生物多様性・安全性に配慮した森づくり (1) 森づくりガイドライン等を活用した森の育成 (2) 指定された樹林地における維持管理の支援 (3) 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上 統合 (4) 間伐材の有効活用 統合
	施策3 森と市民とをつなげる取組の推進	事業③ 森を育む人材の育成 (1) 森づくりを担う人材の育成 (2) 森づくり活動団体への支援
柱2 市民が身近に農を 感じる場をつくる	施策1 農に親しむ取組の推進	事業① 良好な農景観の保全 (1) 水田の保全 (2) 特定農業用施設保全契約の締結 (3) 農景観を良好に維持する取組の支援 (4) 多様な主体による農地の利用促進
	施策2 地産地消の推進	事業② 農とふれあう場づくり (1) 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 (2) 市民が農を楽しむ支援する取組の推進
		事業③ 身近に感じる地産地消の推進 (1) 地産地消にふれる機会の拡大
柱3 市民が実感できる緑を つくる	施策1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進	事業① 民有地での緑の創出 (1) 民有地における緑化の助成 一部統合 (2) 建築物緑化保全契約の締結 (3) 名木古木の保存 (4) 人生記念樹の配布 移行
		事業② 公共施設・公有地での緑の創出 (1) 公共施設・公有地での緑の創出・管理 (2) 公有地化によるシンボリックな緑の創出 (3) いきいきとした街路樹づくり
	施策2 緑を楽しむ市民の盛り上がり醸成する取組の推進	事業③ 市民協働による緑のまちづくり (1) 地域緑のまちづくり
		事業④ 子どもを育む空間での緑の創出 (1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出
		事業⑤ 緑や花による魅力・賑わいの創出 (1) 都心臨海部の緑花による賑わいづくり
効果的な広報の展開		事業① 市民の理解を広げる広報の展開

これからの緑の取組[2019-2023]の体系

柱1 市民とともに次世代に つなぐ森を育む	施策1 樹林地の確実な保全の推進	事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り (1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
	施策2 良好な森を育成する取組の推進	事業② 良好な森の育成 (1) 森の多様な機能に着目した森づくりの推進 (2) 指定した樹林地における維持管理の支援 拡充 冊子P17
		事業③ 森を育む人材の育成 (1) 森づくりを担う人材の育成 (2) 森づくり活動団体への支援
柱2 市民が身近に農を 感じる場をつくる	施策1 農に親しむ取組の推進	事業① 良好な農景観の保全 (1) 水田の保全 (2) 特定農業用施設保全契約の締結 (3) 農景観を良好に維持する活動の支援 (4) 多様な主体による農地の利用促進
		事業② 農とふれあう場づくり (1) 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 (2) 市民が農を楽しむ支援する取組の推進
	施策2 地産地消の推進	事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進 (1) 地産地消にふれる機会の拡大
柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進	事業① まちなかでの緑の創出・育成 (1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成 (2) 街路樹による良好な景観の創出・育成 新規・拡充 冊子P31 (3) シンボリックな緑の創出・育成 新規・拡充 冊子P31 (4) 建築物緑化保全契約の締結 (5) 名木古木の保存
		事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり (1) 地域緑のまちづくり (2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり 新規 冊子P34 (3) 人生記念樹の配布
	施策2 緑や花に親しむ取組の推進	事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成 (1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成
		事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成 (1) 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり 新規・拡充 冊子P36
効果的な広報の展開		事業① 市民の理解を広げる広報の展開



これからの緑の取組 [2019-2023] (素案) の主な内容

取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む 冊子 14~20p

森(樹林地)の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

- 5か年の主な取組**
- ・300haの樹林地を新規指定し、買入れ申し出に着実に対応
 - ・森が持つ多様な機能が発揮できるよう、良好な森づくりを推進
 - ・指定された樹林地における維持管理の支援を充実
 - ・森に関わるきっかけとなるイベントや広報を実施

取組一覧

施策1 樹林地の確実な保全の推進
事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
 ・優遇措置の適用などが可能となる緑地保全制度による指定を進め、樹林地を保全(300ha)
 ・土地所有者の不測の事態等による、樹林地の買入れ申し出に着実に対応(113haを想定)
 ・市民の森において、散策路などの市民が自然に親しむための施設を整備



保全された樹林地

施策2 良好な森を育成する取組の推進
事業② 良好な森の育成
 ・市民の森などのまとまった樹林地を対象に、生物多様性の保全、良好な景観形成、防災・減災など森が持つ多様な機能が発揮できるように、良好な森づくりを推進
 ・土地所有者の維持管理負担を軽減し、樹林地の安全性の向上などを図るため、樹林地内部の倒木や枯れ木の撤去処分などの費用の一部を助成(500件)



森の中のイベント

事業③ 森を育む人材の育成
 ・森づくりに取り組む団体への活動に対する助成や、専門家派遣による支援を実施(150団体)

施策3 森と市民とをつなげる取組の推進
事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり
 ・各区での催し等において、森に関わるきっかけとなるイベントを実施(180回)
 ・ウェルカムセンターにおいて、市民が森について理解を深めるための取組を推進

取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる 冊子 30~36p

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

- 5か年の主な取組**
- ・地域で愛されている並木を再生
 - ・地域が主体となった地域緑のまちづくりや地域に根差した各区での取組を推進
 - ・子どもが多くの時間を過ごす場での緑を創出する取組を推進
 - ・多くの市民が訪れる場所で緑や花による空間づくりを集中的に展開

取組一覧

施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進
事業① まちなかでの緑の創出・育成
 ・各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進(36か所)
 ・老朽化した桜並木などの地域で愛されている並木の再生や街路樹を良好に維持管理することにより、街路樹による良好な景観を創出・育成
 ・花畑や名所など、地域に親しまれている緑のオープンスペースや、多くの人の目に触れる場所を、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな空間を創出・育成



地域で愛されている桜並木

施策2 緑や花に親しむ取組の推進
事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり
 ・地域が主体となり、地域にふさわしい緑の創出を支援(新規30地区)
 ・緑や花に親しむ市民の盛り上げを醸成する、地域に根差した各区での取組を推進



花による魅力・賑わいの創出

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成
 ・保育園、幼稚園、小中学校などの子どもが多くの時間を過ごす場での緑を創出する取組を推進(100か所)

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成
 ・都心臨海部や全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデンなど、多くの市民が訪れる場所で、季節感ある緑花による魅力ある場づくりを集中的に展開

取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる 冊子 21~29p

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

- 5か年の主な取組**
- ・多様な機能を有する水田の継続的な保全を支援
 - ・様々な市民ニーズに合わせた農園を開設するなど、農とふれあう機会を提供
 - ・身近に農を感じ、市民や企業と連携した地産地消の推進

取組一覧

施策1 農に親しむ取組の推進
事業① 良好な農景観の保全
 ・水田景観の保全や多様な機能が発揮できるよう、水稲作付を10年間継続することを条件に奨励金を交付(125ha)
 ・農地縁辺部への植栽や土砂流出防止対策など、農景観を良好に維持する活動を支援
 ・多様な主体へ農地を貸し付けられるよう、遊休化した農地の復元を支援(1.5ha)
事業② 農とふれあう場づくり
 ・収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園を開設(22.8ha)
 ・横浜ふるさと村や恵みの里で農体験教室などを実施(450回)



保全された水田

施策2 地産地消の推進
事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進
 ・直売所や加工所に必要な設備の導入や、青空市・マルシェの開催等を支援(285件)
 ・「横浜農場」を活用した市内産農畜産物のブランド化に向けたプロモーションを強化
事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開
 ・地産地消を広げる人材(はまふうどコンシェルジュ)の育成や活動の支援(150件)
 ・生産者と企業等とのマッチングなどにより、連携を推進(50件)



青空市の開催

効果的な広報の展開 冊子 37p

取組の内容や実績についてより多くの市民・事業者理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、戦略的な広報を展開します



実績概要リーフレット



PRアニメーション